

## 令和 7 年労働組合基礎調査（和歌山県分）の結果概要

- 1 本県の労働組合数は、392 組合で、前年同期に比べて 7 組合減少し、労働組合員数は、51,813 人で前年同期に比べて 784 人増加した。（第 1 表）
- 2 県下の主要団体別の労働組合員数は、連合和歌山 36,073 人（168 組合）、県地評 6,355 人（104 組合）  
適用法規別の労働組合数及び組合員数は、労働組合法適用組合が 308 組合・38,880 人、行政執行法人の労働関係に関する法律適用組合が 3 組合・181 人、地方公営企業労働関係法適用組合が 2 組合・142 人、国家公務員法適用組合が 17 組合・383 人、地方公務員法適用組合が 62 組合・12,227 人（第 2 表）
- 3 県内労働組合員の各産業に占める割合は、「製造業」が 20.29%と最も高く、次いで、「卸売業，小売業」19.39%、「公務」17.35%の順  
県内の主要団体の加盟組合員の各産業別に占める割合は、連合和歌山では、「卸売業，小売業」が 25.56%と最も高く、次いで「製造業」が 22.53%、「公務」が 20.66%の順となっており、県地評では、「教育，学習支援業」が 33.47%と最も高く、次いで「医療，福祉」が 27.82%、「公務」が 11.06%の順（第 3 表）
- 4 地区別では、和歌山市に 206 組合（52.55%）とほぼ半数が存在（第 4 表）
- 5 規模別では、29 人以下の組合員で構成されている組合が 177 組合（45.15%）となっている。（第 5 表）
- 6 県内の労働組合数が最も多かったのは、平成 2 年の 641 組合で、労働組合員数が最も多かったのは昭和 49 年の 96,171 人  
労働組合数及び労働組合員数の長期的な推移をみると、ともに減少傾向である。（第 6 表）